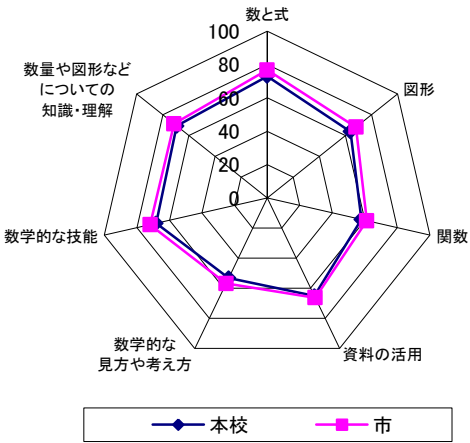


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	73.0	76.7	72.6
	図形	63.8	68.1	63.8
	関数	57.8	61.2	54.4
	資料の活用	65.2	66.3	55.4
観点別	数学的な見方や考え方	53.2	56.8	50.8
	数学的な技能	68.2	71.9	66.7
	数量や図形などについての知識・理解	69.2	71.4	63.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	●すべての内容で、正答率が市の平均を下回っている。とくに、「式の展開・因数分解」の正答率が77. 6ポイントで、市の平均正答率を6. 1ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの 式の展開や因数分解の基礎となる乗法公式や手順を丁寧に確認しながら指導するようにこころがけ、ワークやプリント等を活用して、より多くの問題を解かせるようにする。
図形	●すべての内容で、正答率が市の平均を下回っている。とくに、「角の二等分線の作図」は、正答率が53. 8ポイントで、市の平均正答率を10. 9ポイント下回っている。	作図の学習では、根拠をしめしながら手順を明確に示し、くり返し練習させることを心がける。
関数	●すべての内容で、正答率が市の平均を下回っている。とくに、「1次関数の式を求めること」は、正答率が64. 7ポイントで、市の平均正答率を7. 8ポイント下回っている。	3年次で2乗に比例する関数を学習する際に、2年次の1次関数についても触れ、関連づけて学習を進めるようにする。
資料の活用	○確率の正答率は、76. 7ポイントで市の平均正答率を0. 4ポイント上回っている。 ●資料の活用では、59. 4ポイントで市の平均正答率を1. 9ポイント下回っている。	日常生活に関連した資料を用いることで、資料の読み取りと日常生活との結びつきを意識させることで、整理した情報の意味を説明しあうような授業展開を行う。